



平成24年3月期  
決算説明会

# 会社概要／玄品グループ

## Company Summary

- 商 号 株式会社 関門海 KANMONKAI Co., Ltd.
- 設 立 平成元年 5月
- 代 表 者 代表取締役社長 田中 正
- 子 会 社 株式会社 関門福楽館  
株式会社 だいもん  
株式会社 富士水産（※活動停止中）
- 事 業 内 容 とらふぐ 料理専門店「玄品ふぐ」の運営及びFC展開、その他店舗運営等
- 従 業 員 151名（181名）※（ ）はグループ従業員数
- 店 舗 数 グループ全体 : 108店舗
  - 玄品ふぐ : 86店舗
  - その他 : 22店舗
- 資 本 金 5億9,689万円（平成24年5月31日現在）

# トピックス

## Topics

### 決算期変更

- 11月期 → 3月期に変更  
→当期は「玄品ふぐ」の繁忙期（12月～2月）を中心とした4ヵ月決算

### 現場力強化による 売上回復

- お客様と最も接する現場の声を大切にし、現場発信によるキャンペーンを実施
- お客様とのリレーションを強化し、また来たくなる店づくりの徹底
- 全従業員の意識改革、働きやすい環境づくり、積極的な評価制度の導入

### 新規顧客獲得 施策の開始

- 冬場中心 → 年中、お客様にとらふぐを食べていただけるよう夏季メニューの導入
- 男性中心 → 男女、年齢を問わず来ていただけるよう健康志向、ドリンクメニューの見直し
- コース中心 → 選べる楽しさをコンセプトとしたメニューづくり

### 総額5億円の 第三者割当増資

- H24年2月、第三者割当によるA種優先株式（総額7億円）の発行を取締役会・株主総会にて決議するも、H24年3月払込がなかったため、増資を中止
- H24年3月期の連結決算にて、債務超過（264百万円）及びGC注記継続
- 債務超過解消による上場維持を主な目的として、H24年5月15日に総額5億円の第三者割当による普通株式の発行を取締役会で決議→5月31日に払込完了
- 発行価額 1株15,760円 発行株式数 31,750株（発行済株式数 96,090株）

# トピックス

## Topics

H23年12月

- 代表取締役社長 田中正の就任による新体制への移行、現場力強化、新規顧客獲得への施策を開始

H24年1月

- 第23期定時株主総会での承認を条件に決算期（事業年度の末日）の変更について取締役会決議
- KANMONKAI HAWAII INC.解散

H24年2月

- 株主優待制度（自社お食事券等の贈呈）廃止の取締役会決議
- 第三者割当による新株式（A種優先株式）発行の取締役会決議
- 債務超過の猶予期間入り（猶予期間 H23年12月1日～H25年3月31日）

H24年3月

- 第三者割当による新株式（A種優先株式）の発行を中止
- 連結子会社である株式会社トドックを吸収合併

H24年4月

- 株式会社ジオブレインへ行使価格修正条項付新株予約権（MSワラント）譲渡の取締役会決議
- 固定資産（賃貸物件）の譲渡及び特別利益計上の取締役会決議（物件引渡予定日 H24年8月31日）
- 夏季需要を意識した焼ふる新メニューの先行販売開始（7月から本格スタート）

H24年5月

- 第三者割当による新株式発行の取締役会決議
- 東京本部移転
- 第三者割当による新株式発行の払込完了／筆頭株主の異動

# 経営方針

## Management Policies

### 経営の基本方針

- 創業者理念 「食で世の中を変える、幸せにする、明るい未来実現に貢献する」
- 経営者理念 「真に食を愛する者が関門海という集団を形成し、社会に貢献する」
- 基本方針 「お客様・従業員・株主様・取引先様の利益を情熱をもって一致させる」

### 経営指標目標

- 純資産増強による債務超過の早期解消及び店舗ごとの売上高営業利益率10%達成

### 中期経営戦略

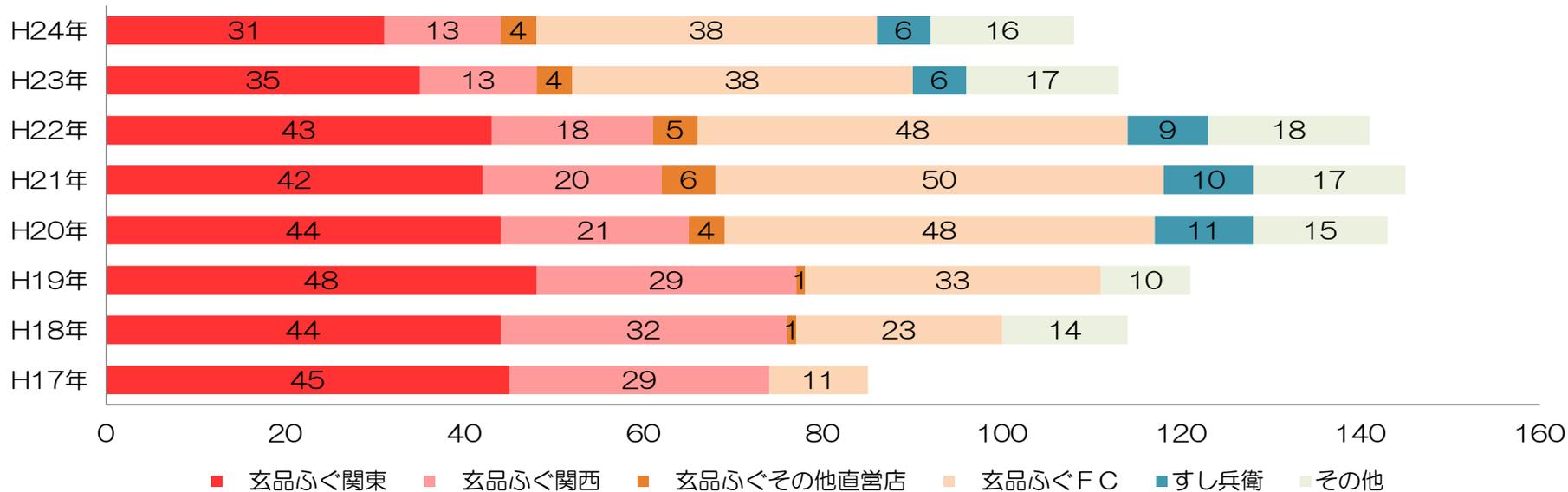
- 主力事業である「玄品ふぐ」事業への本業回帰及び事業基盤の再構築
- 不採算事業からの撤退、収益性と成長性の高い事業分野へ経営資源の集中

### 対処すべき課題

- ① 主力業態「玄品ふぐ」業態競争力向上
  - 店舗運営強化、新商品開発、マーケティング方法等の業態競争力の向上を図り収益基盤の確立
- ② 不採算店舗／事業収益改善もしくは撤退
  - 店舗の売上改善による収益改善及び不採算店舗、事業からの早期撤退の実施
- ③ 債務超過の解消
  - 事業計画の抜本的な見直しによる営業CF確保、増資を柱とした財務体質改善による債務超過の解消
- ④ 継続企業の前提の疑義の解消
  - 事業資金調達、売上増加及び経費削減の各施策を推進し疑義の早期解消を図る

# トピックス／店舗推移グラフ

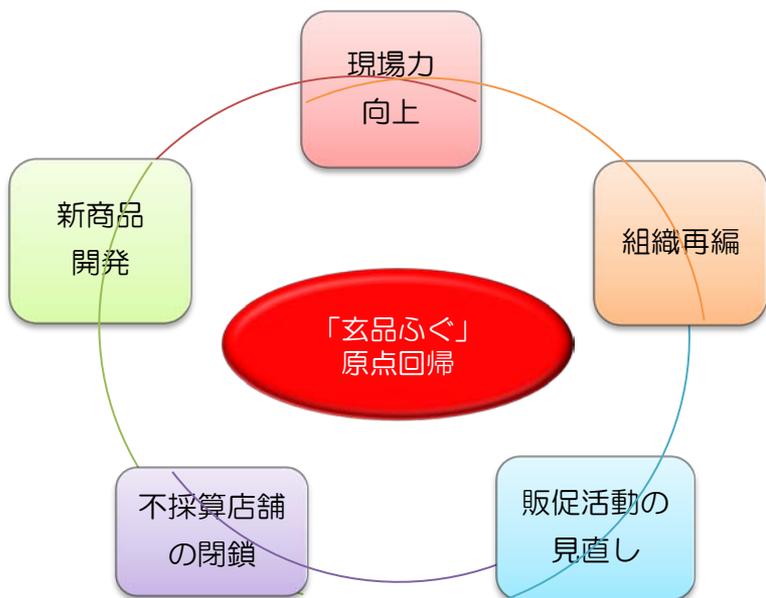
## Topics



項目	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	前年度比
玄品ふぐ	85	100	111	117	118	114	90	86	△4
関東直営店	45	44	48	44	42	43	35	31	△4
関西直営店	29	32	29	21	20	18	13	13	-
その他直営店	-	1	1	4	6	5	4	4	-
FC	11	23	33	48	50	48	38	38	-
すし兵衛	-	-	-	11	10	9	6	6	-
その他	-	14	10	15	17	18	17	16	△1
合 計	85	114	121	143	145	141	113	108	△5

# 前期から当期にかけての事業概要

## Business Outline



### 店舗推移

▼ 玄品ふぐ直営店	48店舗	(前年度より4店舗減少)
＝ 玄品ふぐFC店舗	38店舗	(前年度より変化なし)
▼ すし兵衛/その他	22店舗	(前年度より1店舗減少)
▼ 店舗合計→	108店舗	(前年度より5店舗減少)

### 実績

■ 売上高	2,845百万円
■ 営業利益	544百万円
■ 経常利益	544百万円
■ 当期純利益	484百万円

- 「玄品ふぐ」事業への原点回帰を柱とした収益体質の確立
- 固定概念を取り払った新たな顧客ターゲットの選定を含んだマーケティング活動の徹底
- 閑散期へ向けた主力新商品の開発による強固なファン基盤の確立と「玄品」ブランド力の向上

### 当期の見通し

- 原点回帰の更なる推進活動

- ① 「玄品ふぐ」店舗現場力の強化
- ② 新メニュー開発/販売
- ③ 不採算店舗の業態変更等の実施

- 収益体質企業への転換

今期業績予測 連結売上高5,500百万円/営業利益150百万円/経常利益70百万円/当期純利益50百万円

平成24年3月期 決算概要

KAN  
MON  
KAN

# 決算概要／損益計算書

## Accounting Outline

(単位：百万円)

	H24年3月期		H23年11月期	
	金額	比率	金額	比率
売上高	2,845	100.0%	7,231	100.0%
店舗運営事業	2,845	100.0%	5,530	76.4%
売上原価	940	33.0%	2,803	38.8%
売上総利益	1,905	67.0%	4,428	61.2%
販売費及び一般管理費	1,360	47.8%	4,372	60.5%
営業利益	544	19.1%	56	0.7%
営業外収益	46	1.6%	34	0.5%
営業外費用	46	1.6%	139	1.9%
経常利益	544	19.1%	△ 48	△0.6%
特別利益	15	0.5%	115	1.6%
特別損失	72	2.5%	680	9.4%
税金等調整前 当期純利益	487	17%	△ 613	△8.5%
法人税等	2	0.1%	162	2.2%
当期純利益	484	17%	△ 775	△10.7%

### 経常損益

- 直営既存店舗売上高 前年同期比109%と改善
- 原価率38.8% → 33.0%
- ※ 関門海原価率の改善（前年同期比0.5P改善）  
トドクック（総菜宅配事業）の売却
- 販管費率 60.5%→47.8%
- ※ 繁忙期のため固定費負担率の減少
- 営業利益 544百万円
- 経常利益 544百万円
- ※ 営業外収益として助成金15百万円、  
受取地代家賃19百万円等計上

### 特別損失

- 店舗閉鎖損失 18百万円
- 事業構造改善費用 36百万円
- ※ 事業計画及び営業戦略の抜本的な見直しに関する  
コンサルティング費用等
- 増資失権関連費用 14百万円
- ※ H24年3月14日を払込期日とする第三者割当によ  
るA種優先株式の失権に伴う費用等

# 決算概要／貸借対照表①

## Accounting Outline

(単位：百万円)

	H24年3月期末		H23年11月期末		増減
	金額	比率	金額	比率	
流動資産合計	2,768	54.6%	2,130	46.5%	637
現金及び預金	1,291	25.4%	371	8.1%	920
売掛金	157	3.1%	170	3.7%	△ 12
商品及び製品	1,151	22.7%	1,338	29.2%	△ 186
原材料及び貯蔵品	11	0.2%	18	0.39%	△ 7
その他	163	3.2%	260	5.6%	△ 96
貸倒引当金	△ 8	△0.2%	△ 28	△0.61%	20
有形固定資産合計	1,504	29.6%	1,567	34%	△ 63
建物及び構築物	1,088	21.4%	1,142	25.0%	△ 53
機械装置及び運搬具	6	0.1%	7	0.2%	△ 1
土地	320	6.3%	320	7.0%	0
その他	88	1.7%	97	2.1%	△ 8
無形固定資産合計	9	0.2%	12	0.3%	△3
その他	9	0.2%	12	0.3%	△3
投資その他の資産合計	791	15.6%	866	18.9%	△ 74
投資有価証券	6	0.1%	6	0.1%	0
差入保証金	762	15.0%	834	18.2%	△ 72
その他	53	1.0%	55	1.2%	△ 2
貸倒引当金	△ 30	△0.6%	△ 30	△0.7%	0
固定資産合計	2,304	45.4%	2,445	53.4%	△ 141
資産合計	5,073	100.0%	4,576	100.0%	496

### 資産

- 総資産 5,073百万円  
前期比 496百万円増加
- 現金及び預金の増加920百万円
- 棚卸資産193百万円等の減少

# 決算概要／貸借対照表②

## Accounting Outline

(単位：百万円)

	H24年3月期末		H23年11月期末		増減
	金額	比率	金額	比率	
流動負債合計	4,423	82.9%	4,009	74.8%	414
買掛金	139	2.6%	154	2.9%	△ 15
短期借入金	1,582	29.6%	1,280	23.9%	302
1年内返済予定の長期借入金	2,247	42.1%	2,142	40.0%	104
未払金	297	5.6%	334	6.2%	△ 37
未払法人税等	9	0.2%	3	0.1%	5
未払消費税等	68	1.3%	15	0.3%	52
賞与引当金	7	0.1%	-	-	7
その他	73	1.4%	77	1.5%	△ 4
固定負債合計	914	17.1%	1,349	25.2%	△ 435
長期借入金	802	15.0%	1,217	22.7%	△ 415
その他	111	2.1%	131	2.5%	△ 19
負債合計	5,337	105.2%	5,358	117.1%	△ 20
株主資本合計	△ 291	△ 6%	△ 810	△ 17.7%	519
資本金	346	6.8%	329	7.2%	17
資本剰余金	455	9.0%	438	9.6%	17
利益剰余金	△ 805	△ 15.9%	△ 1,290	△ 28.2%	484
自己株式	△ 287	△ 5.7%	△ 287	△ 6.3%	0
その他の包括利益	△ 2	△ 0.04%	△ 1	△ 0.04%	0
新株予約権	28	0.5%	30	0.6%	△ 1
純資産合計	△ 264	△ 5.2%	△ 781	△ 17.1%	517
負債・純資産合計	5,073	100.0%	4,576	100.0%	496
有利子負債	4,631	91.3%	4,640	101.4%	△ 8

### 負債

- 負債合計 5,337百万円  
前期比20百万円減少
- 買掛金15百万円減少
- 未払金37百万円等の減少

### 純資産

- 純資産合計 △ 264百万円  
前期比517百万円増加
- 当期純利益計上により484百万円増加
- 資本金等（新株予約権行使）  
34百万円増加

# 決算概要／キャッシュ・フロー計算書

## Accounting Outline

(単位：百万円)

	H24年3月期末	H23年11月期末	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	817	49	768
税金等調整前当期純利益	487	△ 613	1,101
減価償却費	56	226	△ 170
たな卸資産の増減額	193	456	△ 262
仕入債務の増減額	74	△ 210	285
未払金の増減額	△ 35	△ 100	64
長期前受収益の増減額	△ 9	△ 58	48
その他	51	349	△ 298
投資活動によるキャッシュ・フロー	78	443	△ 364
有形固定資産の売却による収入	15	54	△ 39
有形固定資産の取得による支出	△ 7	△ 60	52
差入保証金の回収による収入	74	125	△ 51
その他	△ 3	323	△ 326
財務活動によるキャッシュ・フロー	24	△ 874	898
短期借入金の純増減額	-	△ 370	370
長期借入れによる収入	-	200	△ 200
長期借入金の返済による支出	△ 8	△ 648	639
株式の発行による収入	34	10	23
配当金の支払額 <sup>※1</sup>	0	△ 59	59
その他 <sup>※2</sup>	0	△ 6	6
現金及び現金同等物の増減額	920	△ 381	1,302
現金及び現金同等物の期首残高	371	752	△ 381
現金及び現金同等物の期末残高	1,291	371	920

### 1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税金等調整前当期純利益487百万円
- 棚卸資産の減少額193百万円等による増加

### 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

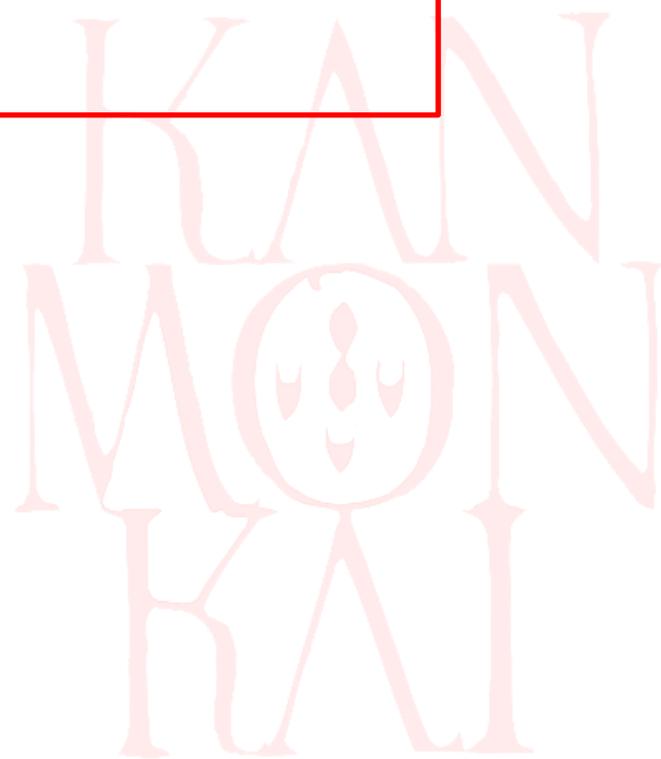
- 有形固定資産取得による支出7百万円
- 有形固定資産の売却による収入等15百万円
- 差入保証金の回収による収入74百万円

### 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 株式発行による収入34百万円
  - ※1 H24年3月期の配当金支払：228千円
  - ※2 H24年3月期のその他：735千円
- (いずれも百万円以下のため0と記載)

# 平成25年3月期 計画

- 営業戦略
- 財務戦略
- 株式状況の変遷
- 平成25年度3月期 計画



# 営業戦略

## Business Strategy

「玄品ふぐ」  
事業への本業回帰

強み① ふぐ料理業界 No.1

強み② トップレベルの水産物の冷凍解凍技術及びノウハウ

店舗運営強化

店舗運営強化

- 高利益率へ回復の為、収益改善が見込めない店舗/事業の早期売却/撤退

新商品開発

マーケティング及び新商品開発スケジュール

- 7月1日～31日 新メニュー及び新焼ふぐコース全て半額のフェア開催
  - 実施販促：折込/メディアリリース→顧客登録した方のみ半額等
- 女性を意識したグルメサイト（ぐるなび/HOTPEPPER）ページへ変更
- 8月1日～ 女性ターゲット獲得のため女子会コース販売

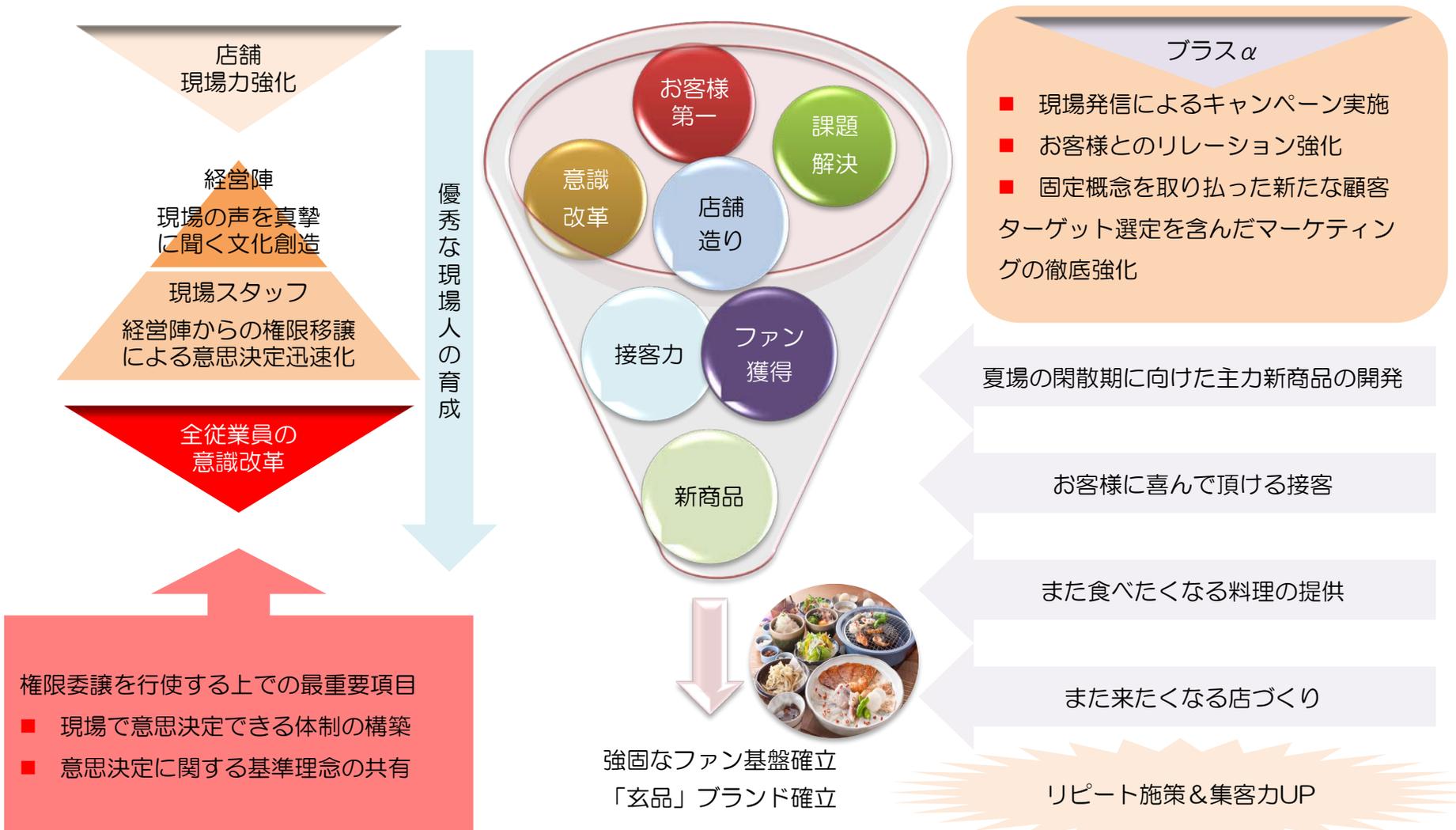
マーケティング  
強化



「玄品ふぐ」業態競争力向上

# 営業戦略／現場力強化

## Business Strategy



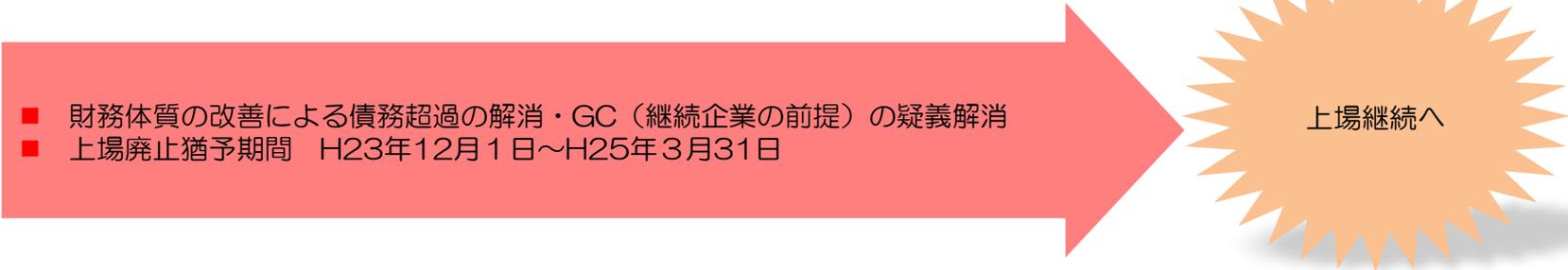
権限委譲を行使する上での最重要項目

- 現場で意思決定できる体制の構築
- 意思決定に関する基準理念の共有

# 財務戦略

## Financial Strategy

- 債務超過の解消
  - 第三者割当による新株式の発行
- 不要資産売却・コスト削減
  - 収益改善が見込めない店舗や事業については早期に売却・撤退
  - 本部機能縮小化による販売費及び一般管理費の更なる削減（H23年11月期より継続中）
- 金融機関との債務返済リスケジュールと有利子負債の圧縮
  - 取引金融機関との借入金返済リスケジュール
  - 増資資金、不要資産売却代金の一部を借入金の返済に充当、有利子負債を圧縮

- 
- 財務体質の改善による債務超過の解消・GC（継続企業の前提）の疑義解消
  - 上場廃止猶予期間 H23年12月1日～H25年3月31日

上場継続へ

# 株式状況の変遷

## Stocks

H23/11

- MSワラントの発行（発行数量 14,000株、行使価額21,090円～84,360円）
  - MSワラント 280株行使 払込金額10百万円

H23/11末

- 発行済株式数 63,020株 資本金 3億29百万円 債務超過7億81百万円
  - MSワラント 1,120株行使 払込金額31百万円、ストック・オプション200株行使

H24/3末

- 発行済株式数 64,340株 資本金 3億46百万円 債務超過2億64百万円
  - 第三者割当により普通株式31,750株発行、H24年6月開催株主総会に議決権付与

H24/5末

- 発行済株式数 96,090株 資本金 5億96百万円 債務超過解消へ



gtr brick group holdings official web site

**GTR BRICK GROUP Holdings**

- 資本金 3億6,000万円（野村一揮氏 97.2%所有）
- 役員等 グループCEO 野村一揮氏 代表取締役 大久保信玄氏
- 主な事業 投資業、企業再生業
- 所在地 東京都中央区日本橋茅場町一丁目9番2号 稲村ビル5階
- 当社株式の保有方針 企業再生を目的とした長期保有

### ■ 第三者割当増資後の大株主状況

株主名	所有株数	所有割合
GTRブリックグループHD	31,750株	33.0%
ヤタガラスHD※1	24,048株	25.0%
関東財務局	5,417株	5.6%
サッポロビール	5,102株	5.3%
自己株式	3,020株	3.1%

※1 前代表取締役谷間氏 100%所有

※ 潜在株式として、MSワラント12,600株等あり

# 平成25年3月期 計画

## Accounting Outline

(単位：百万円)

	H23年11月期 (実績)		H24年3月期 (実績)		H25年3月期 (計画)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	7,231	100.0%	2,845	100.0%	5,500	100.0%
店舗運営事業	5,530	76.4%	2,845	100.0%	5,500	100.0%
売上原価	2,803	38.8%	940	33.0%	1,830	33.3%
売上総利益	4,428	61.2%	1,905	67.0%	3,670	66.7%
販売費及び 一般管理費	4,372	60.5%	1,360	47.8%	3,520	64.0%
営業利益	56	0.7%	544	19.1%	150	2.7%
営業外収益	34	0.5%	46	1.6%	65	1.2%
営業外費用	139	1.9%	46	1.6%	145	2.6%
経常利益	△ 48	△0.6%	544	19.1%	70	1.3%
特別利益	115	1.6%	15	0.5%	30	0.5%
特別損失	680	9.4%	72	2.5%	10	0.2%
税金等調整前 当期純利益	△ 613	△8.5%	487	17%	90	1.6%
法人税等	162	2.2%	2	0.1%	40	0.7%
当期純利益	△ 775	△10.7%	484	17%	50	0.9%

### 当期計画

- 売上高は前々期比で減少
- ※ 不採算店舗閉鎖、総菜宅配事業売却
- ※ 既存店舗は売上高回復傾向継続
- 原価率33.0% → 33.3%
- ※ 夏季フェア開催等のため
- 販管費率 60.5% (23/11期) → 64.0%
- ※ 売却した総菜宅配事業の販管費率が低い影響
- ※ 関門海では販管費率は同水準、380百万円削減
- 営業利益 150百万円
- 経常利益 70百万円
- ※ 営業外費用として増資関連費用計上

### 特別損益

- 特別利益 八尾商品センター売却 30百万円
- 特別損失 店舗閉鎖損失 10百万円

「本日はありがとうございました」

〈お問い合わせ先〉

株式会社 関門海

経営支援部

担当：田渕・阿部

TEL：06-6578-0029

e-mail：ir@kanmonkai.co.jp

本資料に記載されている業績予想、計画等の過去の実績以外の記述については、当社の将来の見通しを示したものであり、現時点において入手可能な情報・見通し・判断に基づいて作成しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があることをご承知おきください。

記載された情報によって生じた損失等につきましては、当社は一切責任を負うものではありません。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。